

バビロン

1 とある館に三人娘が住んでいた

エイ ヴァウ きれいな

娘たちは花を摘みに出ていった

きれいなフォーデイの堤で

2 花を一輪摘んだとき

エイ ヴァウ きれいな

飛び出したのは一人の盗賊

きれいなフォーデイの堤で

3 盗賊は一番目の娘の手をとつて

エイ ヴァウ きれいな

一回転させて立ち止まらせた

きれいなフォーデイの堤で

4 「おまえは盗賊の妻になりたいか

エイ ヴァウ きれいな

でなけりや この七首あ、首で殺されたいか」

きれいなフォーデイの堤で

5 「盗賊の妻になるくらいなら

エイ ヴァウ きれいな

その七首あ、首で殺された方がまし」

きれいなフォーデイの堤で

盗賊は娘を殺して横にした

エイ ヴァウ きれいな

赤いバラをお伴にして

きれいなフォーデイの堤で

盗賊は二番目の娘の手をとつて

エイ ヴァウ きれいな

一回転させて立ち止まらせた

きれいなフォーデイの堤で

「おまえは盗賊の妻になりたいか

エイ ヴァウ きれいな

でなけりや この七首あいくちで殺された方がまし

きれいなフォーデイの堤で

「盗賊の妻になるくらいなら

エイ ヴァウ きれいな

その七首あいくちで殺された方がまし」

きれいなフォーデイの堤で

盗賊は娘を殺して横にした

エイ ヴァウ きれいな

赤いバラをお伴ともにして

きれいなフォーデイの堤で

盗賊は三番目の娘の手をとつて

エイ ヴァウ きれいな

一回転させて立ち止まらせた

きれいなフォーデイの堤で

「おまえは盗賊の妻になりたいか

エイ ヴァウ きれいな

でなけりや このあいくち七首あいくちで殺あぶされたいか」

きれいなフォーデイの堤で

「盗賊の妻になりたくはない

エイ ヴァウ きれいな

七首あいくちにかかつて死にたくもない

きれいなフォーデイの堤で

「この森にはわたしの兄さんがいる

エイ ヴァウ きれいな

もしもわたしを殺したら 兄さんが仇あだを討あぶつでしょう

きれいなフォーデイの堤で

「その兄の名は何という さあ いつてみる」

エイ ヴァウ きれいな

「兄さんの名はバビロン」

きれいなフォーデイの堤で

「おお 妹よ 妹よ 俺は何たることをしでかしたのか

エイ ヴァウ きれいな

おお とんでもないことをしてしまった」

きれいなフォーデイの堤で

「こんな罪を犯したからは

エイ ヴァウ きれいな

神様のお顔もおがめまい」

きれいなフォーデイの堤で

男は七首あいくちをとりだして

エイ ヴァウ きれいな

その美しい命を絶つた

きれいなフォーデイの堤で

(薮下卓郎訳)